

おめでとうございます

## 「移動」に関する高齢者施策① 地域の声から生まれた「移動販売」



■ 今年度、市では34人のかたが満100歳を迎えるました。謹んでお慶び申し上げます。今回は、100歳を迎えた今丸玉代さんにインタビューを行いました。また、市が実施している高齢者施策の中でも「移動」に関する2つの施策を紹介します。

問い合わせ 市高齢者サービス課 0940・43・8298

市では、買い物に不便を感じたかたを支援するため、グリーンコーポと連携し、移動販売事業を始めました。この事業は、移動販売車が必要な地域に出向いて、地域の声を聞きながら、食品や日用品をその場で購入できるものです。

実際に利用したかたに話を聞くと、「スーパーまで行くのが大変。近くまで来てくれるには本当にありがたい」「商品を手に取って選べるのがうれしい。今日は野菜と牛乳を買った」顔なじみの人と会えるので、買い物が楽しみになっている」と話していました。

こうした声を受けながら、地域の状況やニーズに合わせて、少しずつ利用できる範囲を広げるなど、今後も、地域の暮らしに寄り添った取り組みを続けていきます。

## 「移動」に関する高齢者施策②

### 「移動スマホ教室」で「スマホの一歩」をサポート



「操作に自信がなくて不安だったが、分かるまで丁寧に教えてくれて、とても安心した」。そう話すのは、市役所で行つたスマサポ号体験イベントに参加した70代の男性。孫との連絡使いたいと挑戦したLINEの操作をマスターし、「これから自分で写真を送つてみたい」と笑顔を見せてくれました。

スマサポ号(スマホなんでもサポート号)は、移動型のスマホ教室。車両内に常駐するスタッフが、オンラインでつながる専門アドバイザーと連携しながら、基本操作から便利な使い方まで幅広くサポートします。

今回は市役所でのイベントでしたが、スマホをより安心して使えるように、今後は市内のさまざまな地域に出向き、気軽にスマホ相談ができる「移動窓口」として活躍していきます。

**A** 「息子や娘、孫、ひ孫、玄孫、みんなが来てくれて、幸せごしましたか。誕生日はどのように過ごしましたか。

**Q** 笑顔で迎えてくれた今丸さんには、日々の暮らしやこれから楽しみにしていることなどをインタビューしました。



▲自作の写経を手にインタビューに答える今丸さん



### 今丸さんにインタビュー

市では、今年度百歳を迎えるかたを市長が訪問し、長寿のお祝いをしています。

9月に、今丸玉代さん宅を訪問し、国・県からのお祝い状や銀杯、市からのフラワーアレンジメント、さらにボランティア団体「心のきやつぼーるこいのぼりの会」さんが作成した季節の絵葉書を渡しました。「心のきやつぼーるこいのぼりの会」さんは、ひとり暮らしの高齢者や、体にハンデイキャップがある人などに季節の絵葉書を渡している団体で、日々の暮らしに彩りを添えています。

### 今年度百歳を迎える今丸さんを市長が訪問

いっぱいに過ごしました。孫たちがプレゼントを作ってくれました

ことはありますか。

**A** 「写経や草取り、読書です。孫が図書館からいろいろな本を借りてきてくれて、時代劇や現代ものなど、何でも読みます」

**Q** 市民の皆さんに一言お願いします。

**A** 「皆さん、お元気で、無理せず毎日を大切に過ごしてください

市では、今後も長寿をお祝いするとともに、地域のボランティアや見守り活動と連携し、市民の皆さんに安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

百歳を迎える今丸さんの穏やかな笑顔から、これまでの歩みとこれからへの希望が伝わってきました。

ださい

### 安心して暮らせるまちに

「操作に自信がなくて不安だったが、分かるまで丁寧に教えてくれて、とても安心した」。そう話すのは、市役所で行つたスマサポ号体験イベントに参加した70代の男性。孫との連絡使いたいと挑戦したLINEの操作をマスターし、「これから自分で写真を送つてみたい」と笑顔を見せてくれました。

スマサポ号(スマホなんでもサポート号)は、移動型のスマホ教室。車両内に常駐するスタッフが、オンラインでつながる専門アドバイザーと連携しながら、基本操作から便利な使い方まで幅広くサポートします。

今回は市役所でのイベントでしたが、スマホをより安心して使えるように、今後は市内のさまざまな地域に出向き、気軽にスマホ相談ができる「移動窓口」として活躍していきます。

